

青森市斎場建替事業

【設計段階】

【景観審議会資料】

(1-1) 事業概要

青森市斎場は昭和47年に供用開始以来、各所に経年劣化が見られるなど、施設の老朽化が懸念され、また、急速な高齢化の進展により、火葬件数の増加が予測されたことや、社会状況の変化に伴う斎場に対する新たな市民ニーズへ対応する必要があるため、青森市斎場を現地において建て替える青森市斎場建替基本計画を策定しました。

その後、下記のとおり火葬件数が大きく増加し、新たな斎場整備が急がれる中、施設整備と運営を一体で発注する事業方式により総合評価一般競争入札を行い、本事業の事業者を決定し、令和5年度には設計業務に着手しました。

(人体火葬件数の推移)

(単位：件)

	H17		R1	R2	R3	R4	R5
青森市斎場	2,569	~	3,136	3,121	3,355	3,564	3,624
浪岡斎園	267		568	507	520	587	541
計	2,836		3,704	3,628	3,875	4,151	4,165

(1-2) 計画規模

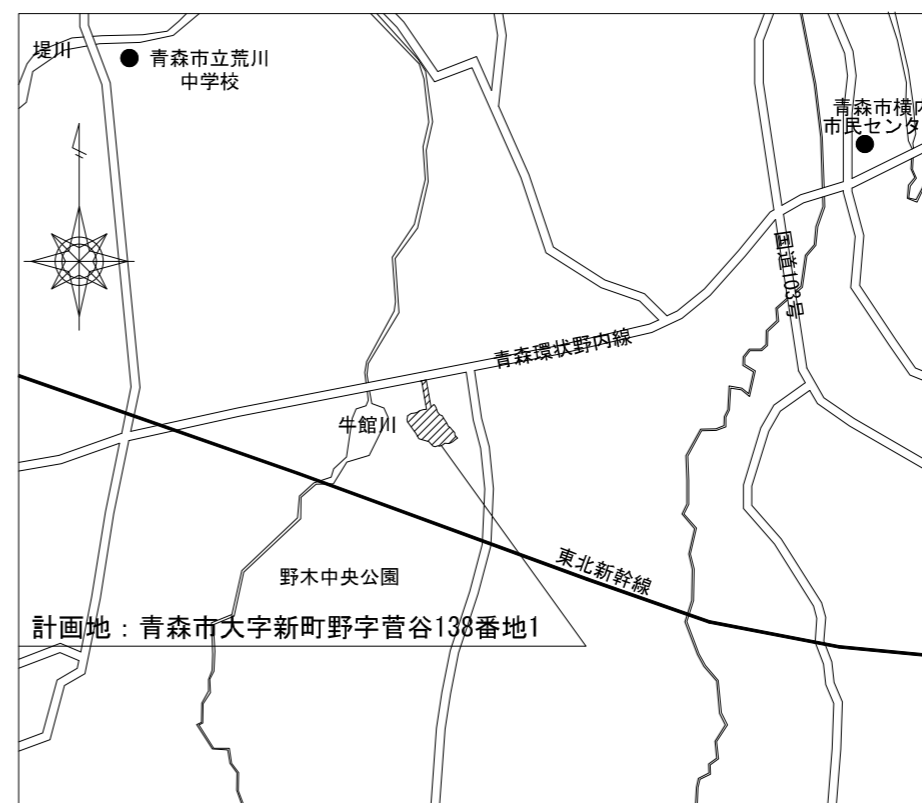
建築面積	約2,100㎡
延床面積	約2,700㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上2階建
建物高さ	約14.60m
火葬炉	人体炉8基 動物炉1基 (合計9基)

(1-3) 整備スケジュール

設計・建設期間 令和6年1月～令和8年8月
 施設の供用開始 令和8年10月
 維持管理・運営期間 令和28年3月まで

(1-4) 建設地位置図

建設地である現在の青森市斎場は、住宅密集地から一定の距離があり、交通アクセスにも優れている場所に位置します。



(1-5) 敷地概要

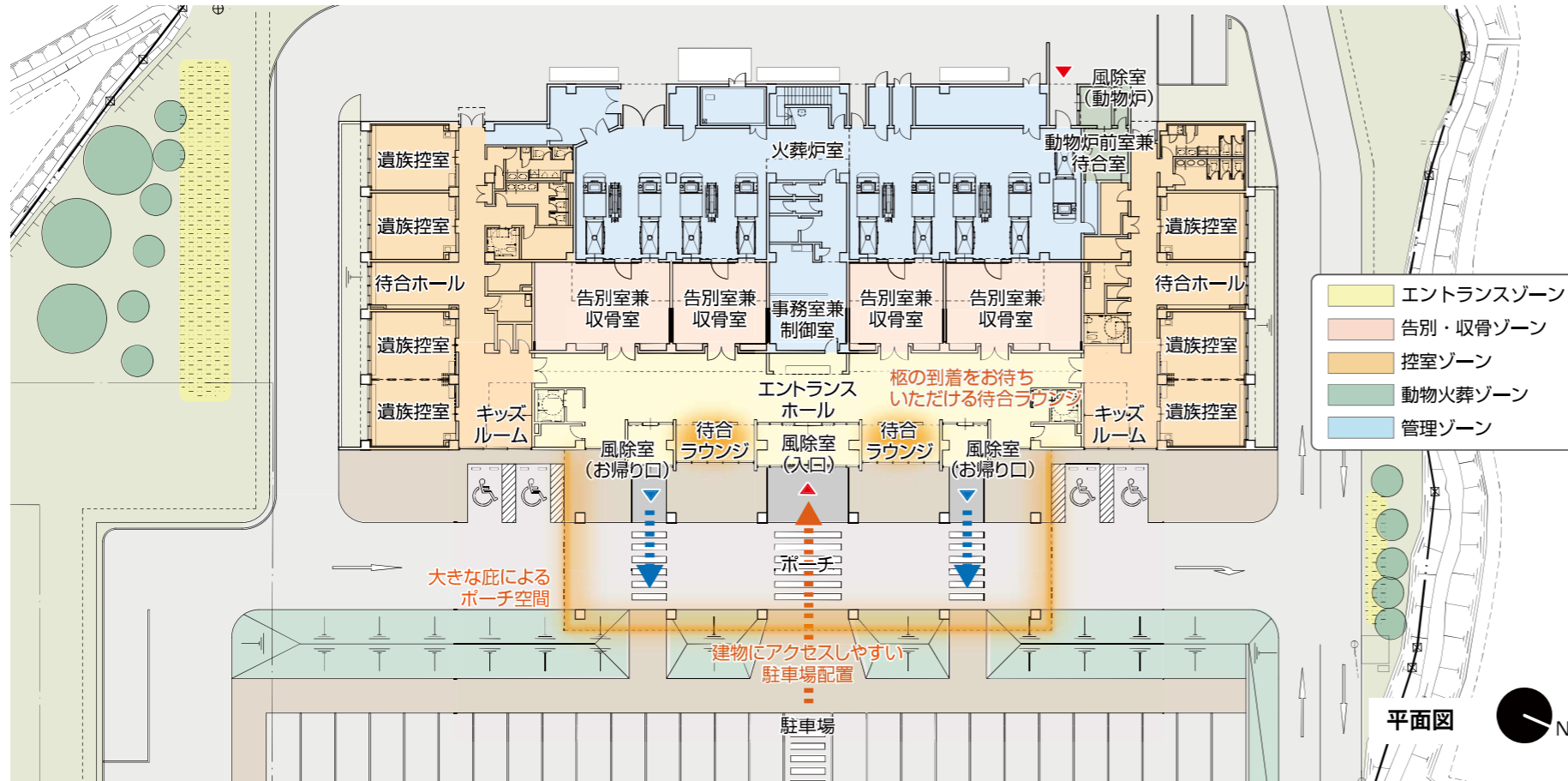
敷地住所	青森市大字新町野字菅谷138番地1
敷地面積	15,225.12㎡
都市計画区域	市街化調整区域
用途地域	指定なし
建ぺい率	70%
容積率	200%
防火地域	指定なし
22条区域	指定なし
接道	県道青森環状野内線(幅員12m)
日影規制	指定なし

(2) 公共建築物

青森の葬送習慣と気候風土に配慮し、心ゆくまでお別れの時間を過ごすことができる、地域に寄り添う斎場とします。また会葬者が利用しやすく、運営・維持管理も考慮した計画とします。これらを実現するために、以下の設計コンセプトに基づき計画を行います。

青森の葬送習慣や地域性に配慮した平面計画

- ・雨天時や積雪時も柩が濡れることなく館内へお迎えできる大きなポーチを整備します。
- ・斎場へ自家用車で来場される会葬者が多いという特徴を踏まえ、柩到着前に来場された会葬者が快適にお待ち頂けるように、エントランスホールには「待合ラウンジ」を整備します。
- ・各葬家のプライバシーに配慮した落ち着いた時間を過ごすことができるゾーニング計画とします。

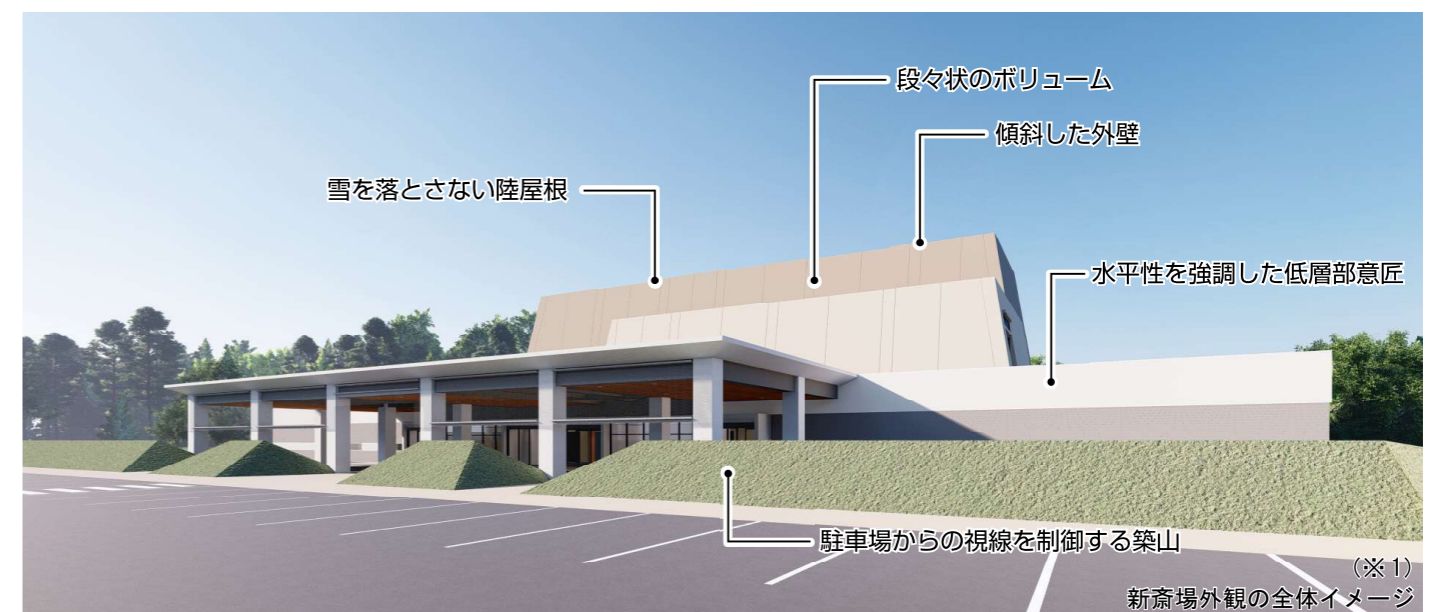


雪の時も柩が濡れることなく館内へお迎えできる大きなポーチ空間

(※1)
エントランス前ポーチのイメージ

故人が過ごしたふるさとの風景と調和する、意匠性・機能性を考慮した外観デザイン

- ・火葬炉機械室の大きなボリュームは、火葬場という建物特有の特徴です。このボリュームを活かしつつ圧迫感を軽減し、周囲の山並の風景と調和させるために、段々状のボリュームや傾斜した外壁とします。
- ・青森平野から続く田園風景の水平性と、斎場建物がつながりを持つデザインとするため、横長の建物形状を活かした低層部の水平性を強調した意匠とします。
- ・会葬者の安全確保と冬期間の降雪を考慮し、管理しやすい建物とするため、雪を落とさない陸屋根形状とします。



(※1)
新斎場外観の全体イメージ

(※1) 基本設計段階のイメージ図であり実際とは異なる場合があります。

(3) 景観計画

【基本方針】

青森市斎場における景観計画は下記を基本方針として計画を行います。

- ・会葬者駐車場に向かって段々と建物高さを低くすること等の工夫により、火葬場特有である大きな機械室ボリュームの圧迫感の軽減を図る。
- ・外壁の主な色彩はアースカラー系の色を選定し、周囲の田園風景や山並などの自然景観との調和を図る。
- ・火葬炉機械室は民家の多い東側から離れた位置に配置。また屋根外周部の立上りを高くし、火葬炉の排気筒が周辺住居から見えにくいよう配慮する。
- ・植栽は青森の気候に合った樹種を選定。中低木を中心に春から夏にかけて花が咲き秋には紅葉するもので四季を感じることでできる外構計画とする。
- ・敷地周辺からの視線を制御するための目隠しとして築山を整備し、ご遺族や来場者の心情へ配慮する。

【外観色彩の考え方】

・計画地は「青森市景観計画」において「自然が豊富な環境で街並みや人工物どうしとの調和ゾーン」に分類されています。

新斎場の外観の色彩については、上記のゾーンで定められている推奨色を参照しながら、検討を行います。

「自然が豊富な環境で街並みや人工物どうしとの調和ゾーン」推奨色

基調色：色相 2.5YR～7.5G 明度 5～8 彩度 0.5～3

色相 10R～7.5G 明度 2～5 彩度 0.5～5

準基調色：色相 10R～7.5PB 明度 5～9 彩度 4以下

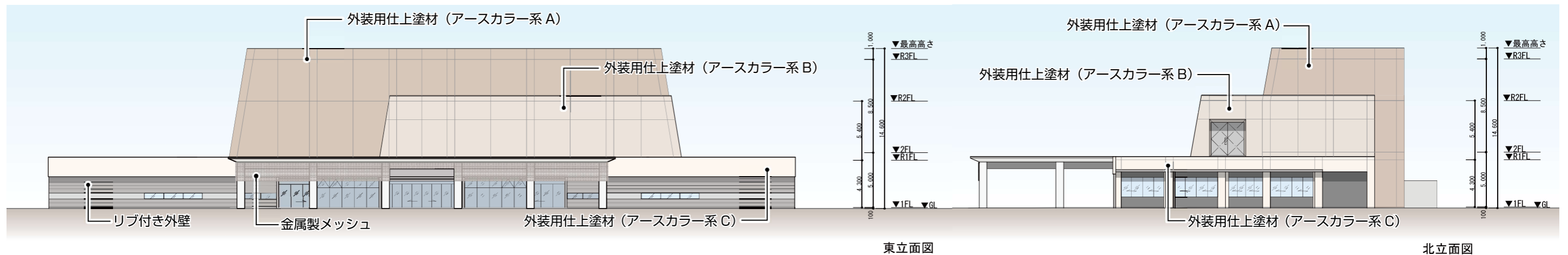
色相 5R～7.5PB 明度 2～5 彩度 5以下

基調色						
	10YR 7/2	1YR 7.5/1.5	5Y 8/1	10YR 7.5/1.5	1Y 7/1	2.5Y 8/0.5
	10YR 5/2	10YR 5.5/1	5Y 7/1	10YR 6/1.5	1Y 6/1	2.5Y 7.5/0.5
	7.5YR 4/2	1Y 5.5/1.5	5G 4/1	10YR 5/2	7.5YR 5/3	2.5Y 6/0.5
準基調色						
	2.5YR 5/3	7.5YR 5.5/3	1Y 7.5/3	1Y 4/1.5	1Y 5/1.5	10YR 6.5/2.5
	6R 2.5/4	7.5YR 3/1	7.5G 4.5/2	2.5YR 5/3	2.5G 4.5/2	5PB 4.5/4.5

推奨色の代表例「青森県景観色彩ガイドプラン」より

- ・外観面積の大きな部分を占める機械室部分の外壁は、周囲の自然との調和を踏まえアースカラー系の色とします。段々状のボリュームは、それぞれアースカラー系の中で色を変えることで、大きなボリュームが分節され、かたまりとしての圧迫感を軽減します。また、雪景色との調和を考え、水平に伸びる低層部の外壁上部は白に近い色としながらアースカラー系の色がわずかに混じった、落ち着いた白とすることを検討します。

※実際に施工される外壁の色は、建設期間中にサンプルを作成し建設中の建物や周辺環境と色合わせを行いながら決定します。



(4) 外構計画

配置計画

・青森市は火葬を行った後に通夜と葬儀を行う葬送習慣であり、斎場へは自家用車で来場される会葬者が多くなります。このため駐車場は建物のすぐ前面に配置することで、駐車場からのアクセスがしやすい計画とします。

・コンパクトな敷地利用計画とすることで会葬者にとって分かりやすいだけでなく、除雪が必要となる範囲を小さくすることができるなど、管理運営のしやすさにも配慮した計画とします。

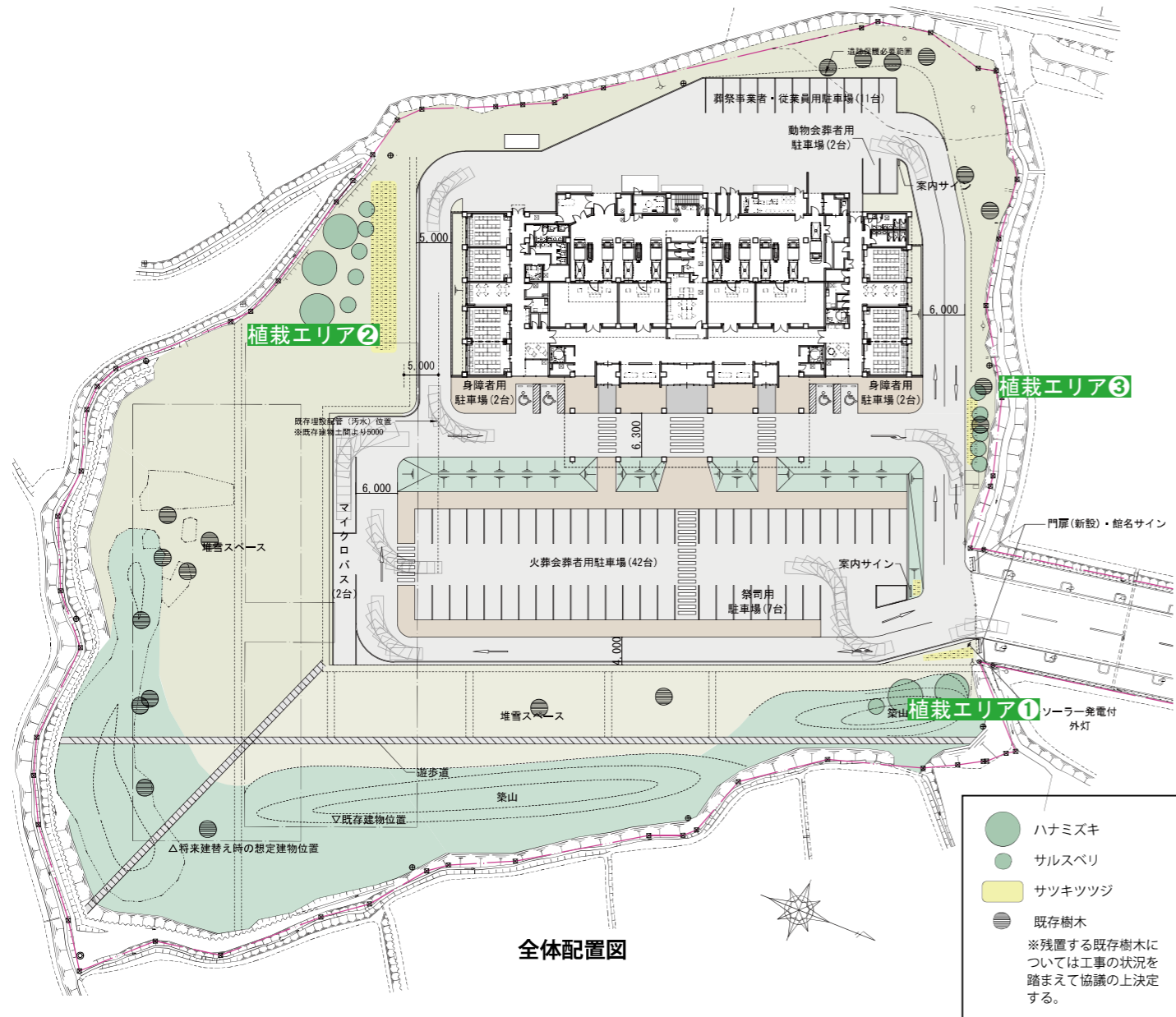
・施設入口から車寄せまでのアプローチはこれから始まる葬送行為そして故人とのお別れを覚悟する重要な外部空間です。車寄せまである程度の距離をとり、心を和ませる植栽を設けます。また東側の緑地には遊歩道を設け、故人が愛した故郷を感じられる外部空間を創ります。

・斎場計画上での配慮として車寄せ部分や敷地東側には築山や植栽を計画し周辺敷地からの視線を制御します。

・会葬者用駐車場は建物東側に隣接して集約配置し、建物にアクセスしやすくわかりやすい計画とします。また、事業者用の駐車場は、会葬者等用とは別に設ける計画とします。動物会葬者用の駐車場は敷地西側に配置し、一般火葬への動線と動物火葬への動線を明確に分離します。

・身障者用駐車場は建物出入口に近い位置に配置します。また、会葬者用駐車場から建物出入口までの経路には歩道を設け、歩行者の安全性を確保します。

・建物周囲には周回できる車路を配置しメンテナンスや除雪がしやすい計画とします。また、敷地内に堆雪スペースを広く確保します。



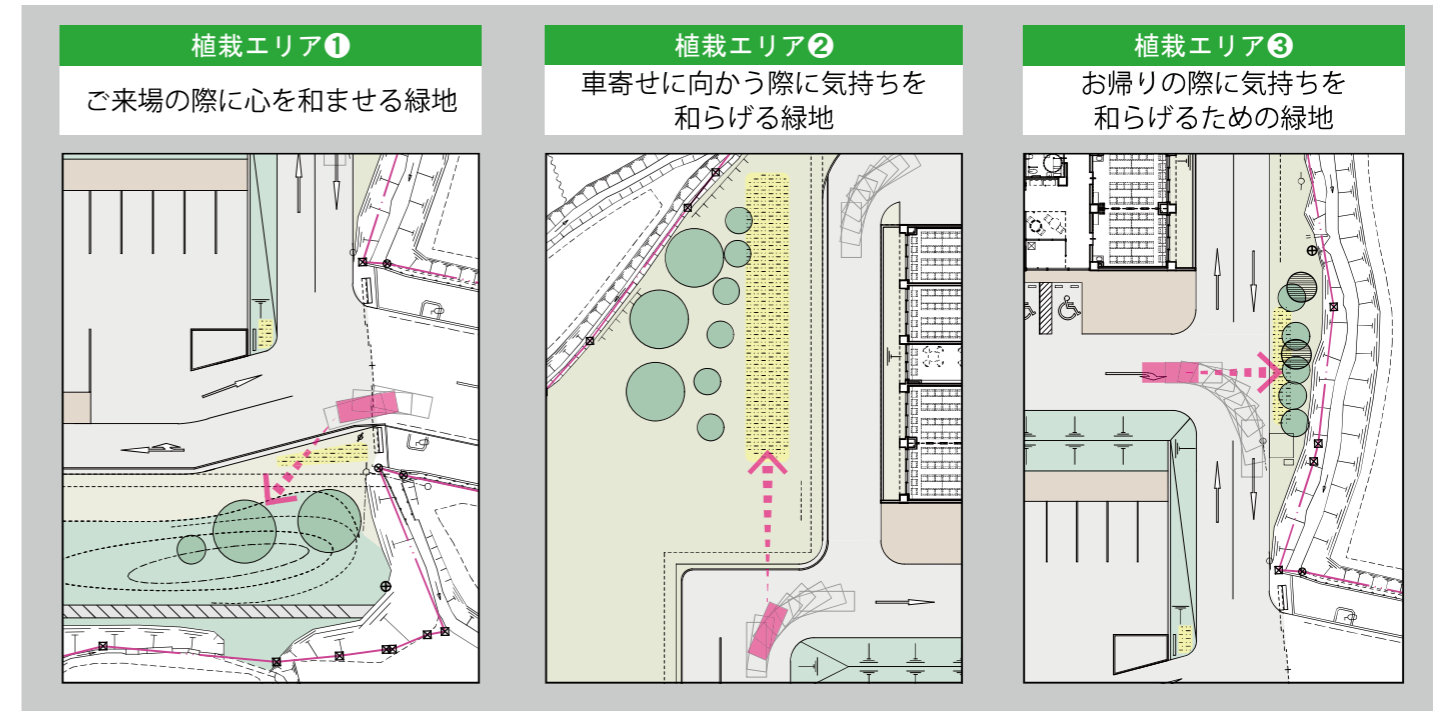
全体配置図

植栽計画

・敷地内の会葬者のアプローチ動線に合わせて、中低木と築山で修景を行います。植栽エリアとしては3ヶ所としてご遺族や来場者の心情に寄り添う計画とします。

・新斎場では積雪寒冷地に強く、青森県内で街路樹として採用されている樹種を採用します。中低木を中心に春から夏にかけて花が咲き秋には紅葉するもので四季を感じることものできるアプローチとします。樹種としてはハナミズキ・サルスベリ・サツキツツジを考えています。

・ご遺族や来場者の心情を配慮し、敷地周辺からの視線を制御するための目隠しとして築山を整備します。表面はワイルドフラワーなどの地覆植物で砂埃を押えます。



○ハナミズキ

落葉広葉樹の中高木。年1回の剪定により樹高3-5メートル(m)に抑えることが可能。若木の樹皮は滑らかである。秋には紅葉する。花期は4月下旬-5月上旬で芽吹きと同時に花が咲き、品種によって花色が白色の木や、やや薄いピンク色の木がある。枝先につく冬芽は、一年枝を含めてごく短い白色に伏毛に覆われる。



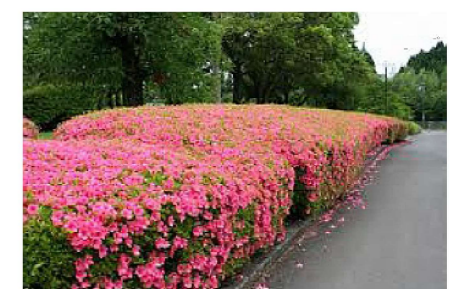
○サルスベリ

広葉樹の中高木で熱帯地域ではない日本などでは落葉樹である。樹皮は見るからに滑らかな表面をもつ。秋に紅葉する。花期は7-10月で百日紅の別名どおり100日近く咲き続ける。果期は8-11月で果実は種子を飛ばしたあとも遅くまで枝に残っている。冬芽は小さな卵形で先端は尖っている。



○サツキツツジ

ツツジ属の植物は低木から高木で、葉は常緑または落葉性で互生である。花期はツツジが4月-6月でサツキは開花期は5-7月でツツジよりも遅い。この特徴を生かし混植することで長い期間花を楽しめる。サツキは水に強いがツツジは湿気を嫌うので条件によって植え分けを行う必要がある。



(5) 周辺写真

